



マンスリータイムズ(令和6年度)

みはま

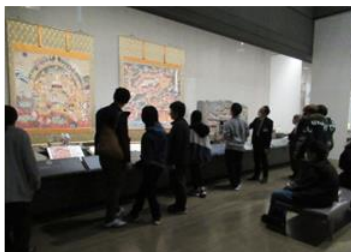
1月号①

二学部 中学部が県立博物館へ行ってきました!

中学部美術では、1月17日(金)に「近代美術館・博物館活用促進」事業を活用して和歌山県立博物館へ校外学習に行ってきました。また博物館の近くにある県民文化会館で開催されている「和歌山かがやき展」の見学もしました。

事前学習で博物館や博物館での展示内容について知り、感想等を話し合い、学芸員の仕事についても興味が広がり、個々の質問を用意して博物館見学へ臨みました。バックヤード見学も楽しみの一つでした。博物館には表で展示されているものだけでなく、裏側(バックヤード)には県内有数のお宝(刀、甲冑、鉄砲、屏風、襖絵等)が特別な部屋で湿度・温度・光を調整して保管されているものがあります。またそれらを殺菌するためのガス室もあります。ドキドキわくわくしながら生徒も教員も学芸員からの説明を聞きました。今回は特別な部屋から、火縄銃が登場しました。火縄銃の持ち方や弾の込め方を教えてもらい、一人ずつ実際に火縄銃を持ち、構えました。生徒たちは早く触ってみたいくて順番が待ち遠しい思いをしている様子でした。実際に火縄銃に触れるとその重さや冷たさ、肌触り、装飾の細かさを感じとることができました。そしてそこから推し量れる時代の姿を学芸員から教わりました。みんな、集中して興味を持って学芸員の話聞くことができ、各々の質問をすることができました。

「和歌山かがやき展」では、自分の作品の展示や他校児童生徒の作品を鑑賞することができました。興味のある作品について、友だちや教員と話しあい、思いを共有することができました。



ゲストティーチャーから聞く「生き方・在り方」の授業シリーズ

1月23日(木)、高等部二学部では「産業社会と人間」の授業(学校設定科目)で、「美浜町のステキな大人から生き方を学ぶ」シリーズの授業が行われました。今回は、美浜町で地域おこし協力隊として働く山口エリック剛さんをゲストティーチャーとしてお迎えしました。山口さんは日系3世として南米のボリビア多民族国で生まれ、学生時代を日本やアルゼンチンで過ごし、今は和歌山県で生活をされています。ボリビアは地形の起伏が激しいため、地下鉄ではなくロープウェーが主たる交通手段であることや、子どもの頃、アマゾンにワニを捕まえに行った話、また日系人の家庭での文化や過ごし方などを詳しく話してくれました。また、地域おこし協力隊として、美浜町のグルメとしてラーメンを開発していることなども教えてくれました。

高等部のみんなに伝えることとして、経験談を交えながら「お金」の話をしてくれました。お金のことはなんとなく話題にしづらい面もありますが、奨学金の仕組みや投資まがいの詐欺話など、今はYouTubeなどでもわかりやすいコンテンツがあるようなので、この機会に学んでいければと思います。興味深いお話で時間があっという間に過ぎていきました。

